

令和4年度 山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	
本年度の重点目標	1. 一人一人のニーズに応じた教育を行い、基礎・基本の定着や知識・技能を生活の場で活用できるように指導する。 2. 保護者や地域と連携を深めるとともに地域における特別支援教育を推進する。 3. 安全・安心な学習環境を充実させる。 4. 教職員の働き方改革を推進する。
達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上) B 概ね達成できた。(6割以上) C 不十分である。(4割以上) D 達成できなかった。(4割以下)

学校関係者評価	校長 荒川昌浩
評価	4 良くできている。 3 できている。 2 あまりできていない。 1 できていない。

自己評価			年度末評価(1月10日現在)			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	(1)児童生徒の実態やニーズを把握し、学年や学部の教師集団で情報共有しながら、同一指導方針とも指導する。	①児童生徒の様子や変容の定期的な情報共有 ②授業集団や学年、学部で指導方針を話し合う機会を設ける。	・定期的に学年会や学部会で情報共有できた。 ・指導計画作成時に話し合いを行ったか。 ・学年や学部で指導方針を共有したか。	①学部会では、養護教諭も含めて全職員で児童の様子の変化等について情報共有を行った。その中で、指導にあたっての担任の考えや指導の方針を全体で把握することで、一貫性のある指導を行うことができた。 ②集団授業については、指導計画を作成する際に、児童の実態や教科・領域における目標を確認した上で、指導内容の検討や目標の設定を行った。授業を終えることに児童の様子と授業についての評価を行い、効果的な授業を目指して授業改善を行うことができた。	B	・学年・ブロック内で児童についての情報交換はできているものの、学部全体での情報共有の場はなかなかもたせにくい。学部会等の機会を活用して、児童についての情報交換を行っていく必要がある。 ・授業と評価の一体化を継続して行中で、「児童の学び」を深められるような授業づくりをより意識していく必要がある。
	(2)集団の実態に合わせて学習内容を検討し、発達段階や障害に応じた授業づくりを目指す。	①指導計画作成時に児童生徒の実態に基づいて指導内容を検討する。 ②児童生徒の学習評価と合わせて授業(指導)の評価も適切に行い、授業改善に努め、指導と評価の一体化を図る。	・指導計画作成時に話し合いを行ったか。 ・指導計画の評価に合わせて評価のための話し合いを行ったか。	①指導計画の作成や反省の際に指導内容や指導方法も反省を行うとともに、ICTやSTの役割についても共通確認を行い、児童生徒の理解しているため、活発な話し合いができた。 ②毎日の学部会で生徒の共通確認を行うとともに、学習状況についても共通確認を行った。それとともに指導方法についても話し合い指導と評価の一体化を進めた。	B	・生徒の人数減少のため、集団授業が細みになる。生徒同士の関わり学ぶための工夫が必要となる。 ・全校集会など、中・学部会での活動を用意し集団の中で学ぶ機会を設けるとともに中・学部生に学校のリーダーであるという自覚をもたせる必要がある。
	(3)教師一人一人が主体的に研究に参加し、研究活動を通して専門性の向上を図る。	①研究組織を小グループで構成し、一人一人の意見が反映しやすいようにする。 ②専門性の向上を目指して、校内研究会や学習会を実施する。 ③個々のICTスキルの向上を目指す。 ④センター研修をはじめとした外部の研修で得た内容を校内に還元する。	・グループ編成や研究方法を工夫したか。 ・研究会や学習会を実施できたか。 自己研修や校内外の研修会を活用できたか。 ・伝達講習等を通して情報を共有できたか。	①グループごとや授業にかかわる教員同士で研究を実施した。児童生徒の実態を理解しているため、活発な話し合いができた。 ②PTA作業で校内の清掃を行った。保護者が主体的に取り組む、協力的な雰囲気だった。 ③ICT支援員や校内人材を活用し、ICTに関する学習会・研修会を回実施した。 ④ICTに関するセンター研修に参加し、校内へ伝達講習を行った。	B	・研究内容を日々の実践に生かすことができるように、意見を出しやすいグループ編成や研究方法を検討する。 ・年に2回程度、校内の課題に関する学習会や校内研究について研修会等を実施する。 ・来年度以降の校内研究については未定だが、教師が主体的に参加でき、質の向上が図れる校内研究を実施する。 ・センター研修を始めたとして各種研修への参加を促す。また、研修で得た内容を校内で共有する。
2	(1)PTA行事を企画し、学校と保護者、保護者同士の連携を図る。	①進路学習会や施設見学を実施し、進路について啓蒙を図る。 ②PTA作業等とおして、保護者と学校が協働して活動する雰囲気醸成する。 ③PTAだよりを発行し、PTA活動の全体周知を図る。	・進路学習会や施設見学を実施できたか。 ・PTA作業を実施できたか。 ・定期的にPTAだよりを発行できたか。	①施設見学を7月に実施できた。進路に関する学習会は行わなかったが、進路だよりを2回配布した。 ②PTA作業で校内の清掃を行った。保護者が主体的に取り組む、協力的な雰囲気だった。 ③PTAだよりを年2回発行できた。	A	・施設見学は児童生徒の将来の生活を考える上で非常に意義深かった。分枝は高等部がないため、進路情報を得にくい面がある。本校進路指導部と連携して、密に努める必要がある。 ・コロナ禍ではあったが、PTA作業を実施できて保護者同士のつながりを作るきっかけになった。
	(2)交流及び共同学習や地域支援を通して、圏域の特別支援教育を推進する。	①地域交流や学校間交流の機会確保に努め、直接交流を実施できるよう計画する。 ②地域の関係機関と顔の見える連携を図る。 ③地域の関係機関との連携の様子を地域支援だよりで校外に周知する。	・計画的に交流及び共同学習を実施できたか。 ・各種協議会への参加や教育相談等の実施 ・地域支援だよりを発行して配付できたか。	①1回体のみ間接交流があったが、その他の交流は全て直接交流を実施することができた。 ②学校等への訪問支援を37ケース、研修支援を3回実施した(11月末現在)。その他各町主催の会議に参加し、関係機関と顔の見える連携に努めた。 ③4・9月に地域支援だよりを発行し、各機関との連携の状況について情報提供した。2月にも発行予定である。	A	・コロナの感染状況や、双方の感染状況を踏まえないが交流内容・時期をすり合わせることによって直接交流を実施することができた。また、分枝まつりでは学習発表・展示や掲示で、交流の方々にさらし理解を深めていた。 ・訪問支援等について、校内での理解が進んでいる。今後も必要な支援が行えるよう、引き続き校内体制を整え、校外への情報提供を行いたい。
	(3)児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう感染対策、緊急時対応など周知徹底を図る。	①感染症対策を徹底する。 ②救急体制の周知徹底を図る。 ③スクールバスの安全運行に努める。	・日常の中での手洗い、消毒等呼びかけ徹底できたか。 ・緊急時シミュレーションや嘔吐研修を実施できたか。 ・添乗日誌の確認や対面での情報交換を行い連携を密に取ることができたか。	①保健室を中心に、下校後の使用教室の消毒と感染予防を心がけることができた。②心肺蘇生法の研修は行うことができた。嘔吐研修ができた。③スクールバス運営委員会を2回(12月末現在)開いたり、日ごから運転手、添乗員とコミュニケーションをとったり、学校とスクールバスで情報の共有を図り、スムーズな運行に努めた。	B	・感染症予防策を定期的に呼びかけて職員、児童・生徒に徹底している。 ・心肺蘇生法については赤十字と連携して、指導者派遣をいただいで実施し予定、嘔吐研修を次年度の年間計画に位置付けて実施する。 ・今後も運転手、添乗員とコミュニケーションをとりながら、情報を共有している。
3	(2)児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう災害時や緊急時に備える。	①危機管理マニュアルを見直し、全体に周知する。 ②避難訓練や引き渡し訓練を実施する。 ③非常食や備蓄品を適切に管理する。	・分掌会議でマニュアルを検討できたか。 ・職員にマニュアルを周知できたか。 ・適切に訓練を実施できたか。 ・非常食や備蓄品を計画的に入れ替えることができたか。	①今年度新たに、南海トラフ地震対策についてのマニュアルを作成し、職員全体に周知させることができた。 ②地震避難訓練2回、引き渡し訓練1回、火災避難訓練1回、不審者対応防犯訓練(職員研修)1回を実施し、児童生徒の安全を守るための努めた。 ③非常食の賞味期限を確認し、新しいものを入れ替え、適切な管理を行うことができた。	B	・児童生徒の旧中・小・高小の校舎への徒歩での避難訓練は実施せず、教職員の研修として避難経路及び緊急時マニュアルの確認を行う。 ・社会の情勢に目を向け、時世や児童生徒の実態に合った内容の訓練、研修の計画運営を行う。
	(4)教職員の働き方改革を推進する。	①健康教育推進のため、職員の健康管理を推進する。 ②定時退校、年休消化の実践により私生活を充実させる教育の充実と反映させる。	・各種検診の情報提供と職員検診の実施 ・定時退校達成回数 ・年休17日消化	①各種検診の情報を提供し、職員検診を実施できた。 ②各自が積極的に年休消化に努め、職員平均17日の目標をクリアした。夏季休暇は全員が完全消化した。定時退校日は年間目標設定され、その日に定時退校できない職員は任意の日で定時退校するよう促した。100%達成できた。	A	・長期休暇期間などを利用して、積極的な年休消化ができた。 ・定時退校日は設定された日に全員が帰ることは業務の関係で難しい日がある。また、年度初めや年度末などどうしても仕事量が立て込み定時に退校できない日も発生している。その場合も自分で調整し、定時に帰る日を自分で設定することにより、できるだけ早く帰る空気を作ることができた。

学校関係者評価	
実施日(令和5年2月20日)	
評価	意見・要望等
3.75	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の指導では、児童生徒の実態差もあり、集団での授業が計画しにくいのではないかと。学年やブロックにこだわらず、個々の実態や支援ニーズにあった集団構成で、主体的な学びが深められるように工夫していただきたいと思う。</li> <li>・ICT活用については、静地校こそ求められ、有効性が高いのではないかと考えられる。教師がICTツールを克服し、鉛筆や消しゴムのような自然な学習ツール、生活ツールとして使用することで、必要なリテラシーやスキルを高まっていこうと考えられる。研修だけでなく、実際の使用頻度を高めて操作することが教師にも子どもにも重要だと思う。</li> <li>・支援学校では一人ひとりの実態やニーズは本当に様々であると思うが、その中で職員が共通理解を固めながら授業に取り組んでいる様子が見える。専門性の向上について、「自前派」など特定のテーマに関する学習会で研鑽を積んでいることがわかったが、自前派の授業における指導の向上についてどのような取組があったのか、知れるとよい。</li> <li>・中・学部においては学内で生徒指導、評価に対する共通確認がなされ、ニーズにあった細かい指導がなされている。小・学部は6年生あるため、情報交換に評価指導に努めてほしい。学習会研修会への参加が専門性向上につながると評価できる。専門性に関する機能にも生かしてほしい。</li> <li>・教師一人一人よく研究して共有もできていると思う。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での連携は申し分ないのではないかと、楽しそうに交流が行えた様子が見え、よかった。</li> <li>・今後、地域での自然な交流が生まれるように学校が計画的に「しなげ」を設定することを期待している。直接交流は体験的学習として重要な役割を担っている。</li> <li>・コロナ禍にあってもPTA活動や交流、共同学習が積極的に進められたことは大変評価できる。特に直接交流を実施する判断は大きかったと想像されるが、素晴らしい判断だったと思う。</li> <li>・保護者の施設見学を保護者間の交流のためにも積極的に実施してほしい。積極的に学習会や研修参加が行われていることを評価する。地域こども園やデイサービスなど事業所への情報提供や指導を積極的にお願いしたい。</li> <li>・PTAにできるだけ学校行事に参加してもらい、学校の様子を知ってもらうことが大切である。</li> </ul>
3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性もあり、災害への備えは重要性が高い項目だと考えられる。それぞれの非違段階、障害の程度、感覚特性に即した支援を計画的に行い、健康の維持、災害時の対応を体験的に学習していただきたいと思う。</li> <li>・防災は、いつ起こるかわからないので、つい「大丈夫だろう」と思ってしまうがちであるが、マニュアルの見直しや非常食の管理などから、平時から防災対策に取り組んでいる様子が見える。</li> <li>・次年度計画されている嘔吐処理研修を実施していただきたい。感染症の観点からスクールバスでの処理も想定して行ってほしい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇期間などを利用して、積極的な年休消化ができた。</li> <li>・定時退校日は設定された日に全員が帰ることは業務の関係で難しい日がある。また、年度初めや年度末などどうしても仕事量が立て込み定時に退校できない日も発生している。その場合も自分で調整し、定時に帰る日を自分で設定することにより、できるだけ早く帰る空気を作ることができた。</li> </ul>

※(1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。  
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。